



パネルディスカッション

「文化」とともに生きる日々

～隠岐と後鳥羽院から考える～



メインパネリスト〈オンライン参加〉
ポール・マーティン氏

東京在住の刀剣研究家。
英国出身。大英博物館の日本部門代表を務め、「日本の美 日本刀」(学研プラス)英訳等で活躍。(財)日本刀文化振興協会評議員 山陰インバウンドアドバイザー
遷幸800年に現代刀第一人者による新作刀の奉納する、平成御番鍛冶プロジェクトを企画中

令和2年(2020年)

12月6日(日)

午後2時～4時

会場

隠岐開発総合センター

・島民ホール

※オンライン同時配信予定

令和3年(2021)は

後鳥羽院が隠岐におうつりになって800年の記念の年です。

この記念の年をお祝いするとともに、
後鳥羽院の伝承にゆかりのある文化を中心に、あらためて「**隠岐国・海士**」について考えてみませんか？
文化の継承を通じた交流活動が、
私たちの日々にどのように潤いを与えているのかを語り合う場を設けることとなりました。
世代・地域・国境を超えて愉しく「つながる」。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

後鳥羽院顕彰事業実行委員会
実行委員長 大江 和彦

日程

第1部 パネルディスカッション
(午後2時～3時)

パネリスト

ポール・マーティン氏
町内の文化・教育関係者
島前高校生、卒業生(調整中)

第2部 ワークショップ
(午後3時～4時)

- ・800年事業のアイデア
- ・海外から見た日本文化

定員：50名(参加費無料)

申込方法 12/2(水) 〆切

- ①役場、開発センター、あまマーレの玄関
にある申込用紙に記入の上、設置してある
「後鳥羽院顕彰事業回収箱」にお入れくだ
さい
- ②メールで事務局に申込む
gotobainkensyo@gmail.com
- ③電話で申込む 役場総務課 村尾
電話 2-0115 ・FAX 2-0357

※「ワークショップ」までご参加の方は下記
を添えた事前の申し込みが必要です。
【お名前/人数/ご連絡先(メールアドレス・
電話番号)/ご質問事項】
※検温、マスク着用の上ご参加願います。
※詳しくは下記QRコードよりHPをご覧ください。

